

2006事業計画 推進状況

2007. 4. 27

 **三菱重工業株式会社**

取締役社長 佃 和夫

目次

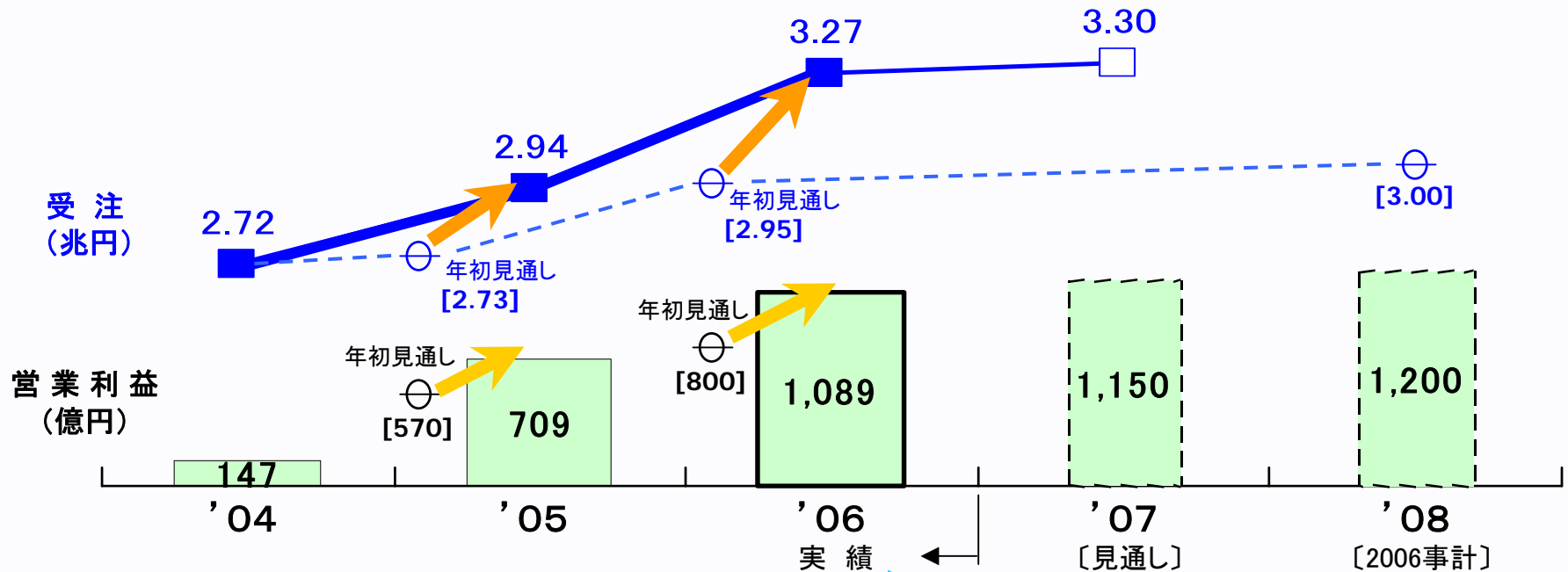
- | | |
|-----------------|------|
| 1. 総括 | 3ページ |
| 2. 「3つの変革」の推進状況 | 5ページ |

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより、これら業績見通しに基づき投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

1. 総括

総 括

✓ 06事計は順調に進捗
 ◇受注・営業利益とも、伸長事業、海外を中心に年初見通しに対し超過達成
 ◇'08年度 最終目標達成に向け、重点施策の実行を加速



・収益改善活動: 全方位コストダウン、製品信頼性向上

・製品事業強化: 伸長事業への投資、不採算事業対策

アクション05

【3つの変革】

- ・プロダクトミックスの変革
- ・ものづくり基盤の変革
- ・リソース投入の変革

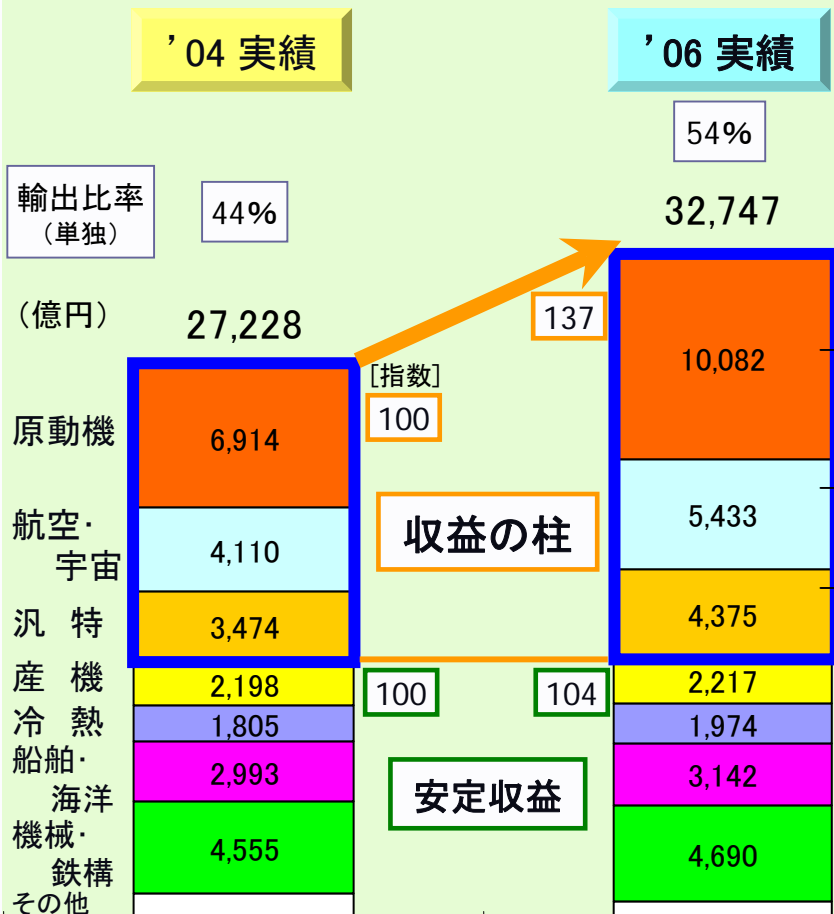
2006 事 計 展 開

2. 「3つの変革」の推進状況

2-1-① プロダクトミックスの变革

事業構造の变革

【セグメント別 受注高】



重点施策の推進状況

伸長事業の強化・拡大

- ✓ ガスタービン、風車、太陽電池の生産能力増強
- ✓ IGCC、次世代ガスタービンの開発加速
- ✓ 原子力事業のグローバル展開/次世代炉開発
 - ・米国市場参入 (MNES設立、US-APWR採用決定)
 - ・アバ と提携 (100万kW級PWR共同開発着手)
 - ・FBR開発の中核企業に決定
- ✓ B787/生産本格化 (複合材主翼3工場竣工)
- ✓ PAC-3ミサイル/地上装置納入、誘導弾生産本格化
- ✓ H-II Aロケット/6機連続打上げ成功
- ✓ ターボチャージャー/360万台体制構築
- ✓ 排ガス3次規制対応エンジン/市場投入

低採算事業対策

- ✓ 船舶・海洋/生産プロセスの变革、生産設備の近代化
- ✓ 海外生産拡大 (冷熱/PAC、産機/印刷機械 他)
- ✓ 事業統合、事業移管、事業譲渡
 - ・機械・鉄構事業本部の統合
 - ・機械・鉄構/中小製品等を関連事業会社に移管 (橋梁他 6製品)
 - ・産機/押出成形機 事業譲渡

2-1-② プロダクトミックスの変革

収益構造の変革

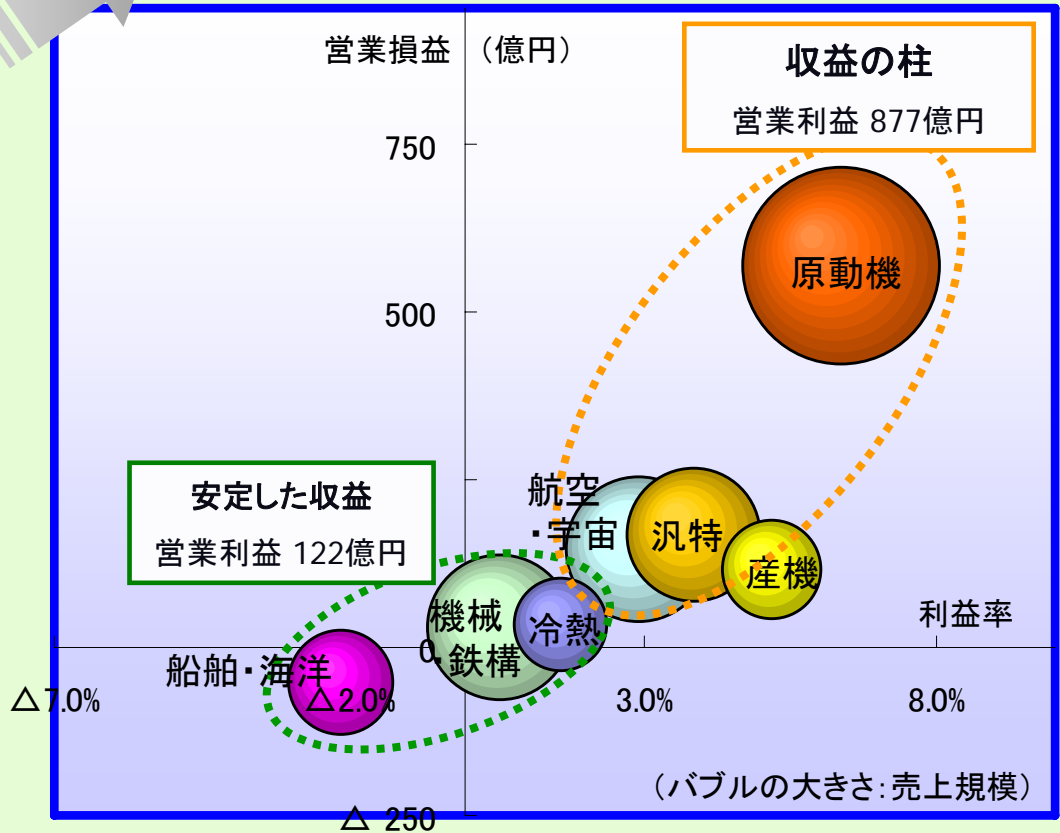
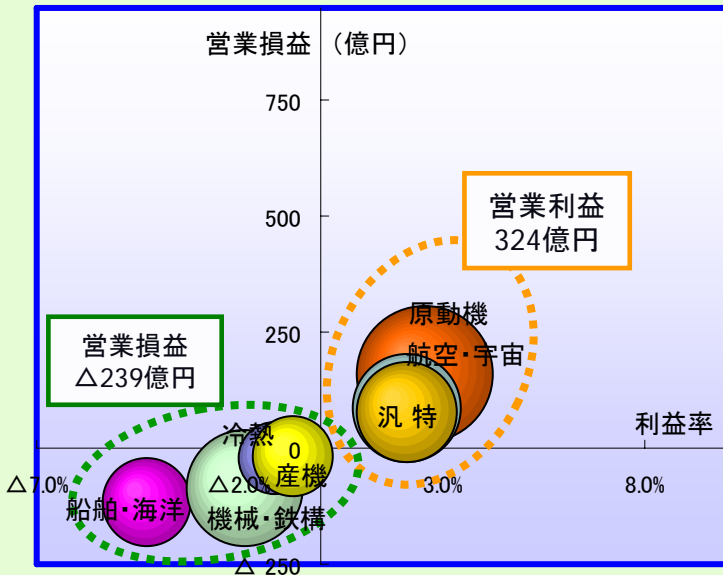
【セグメント別 売上・利益】

'06 実績

売上	30,685億円
営業利益	1,089億円
営業利益率	3.5%

'04 実績

売上	25,907億円
営業利益	147億円
営業利益率	0.6%



収益の柱: 原動機、航空・宇宙、汎特

2-2 ものづくり基盤の変革

推進状況

■ 徹底した内製力の強化

✓ 3Mの強化: 手法 (Method)、設備 (Machine)、人 (Man)

手法

- ✓ 「受注品事業」に「量産品」的生産システムの導入
- ✓ デジタルものづくりへの変革
- ✓ サプライチェーンマネジメントの強化

- ・モジュラーデザイン推進PJの加速
- ・デジタルデータ活用による設計/生産/アフターサービスの一貫した業務プロセスの変革
- ・グローバルにパートナーとの情報の共有化、連携強化、技術支援、技能伝承サポート

設備

- ✓ 基幹設備の最新鋭化
- ✓ キー部品・ユニットの内製化
/ 生産技術の強化

- ・老朽基幹設備に対する近代化計画の推進
- ・社内の英知・知見を結集し、世界トップクラスの工場化
- ・研究所による生産技術課題の解決(暗黙知の形式知化)

人

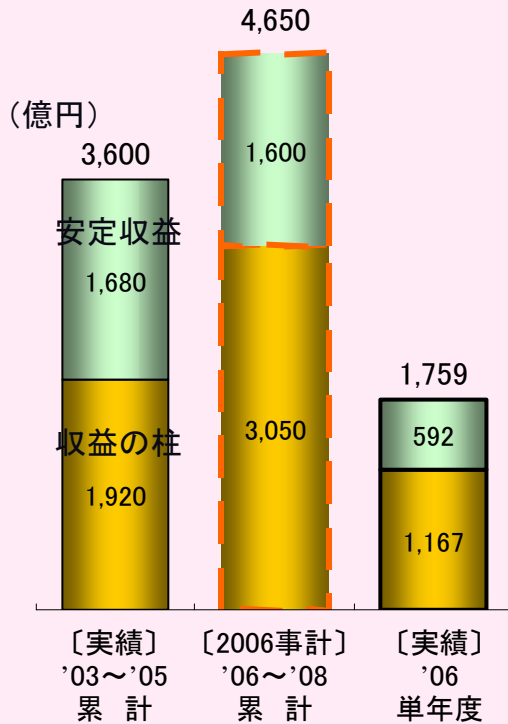
- ✓ ものづくり人材の育成・強化

- ・基幹技能職の採用拡大
- ・設計・生産・品証技術者の年次別教育義務化
- ・ものづくり力強化/人材確保に資する処遇改善

2-3 リソース投入の変革

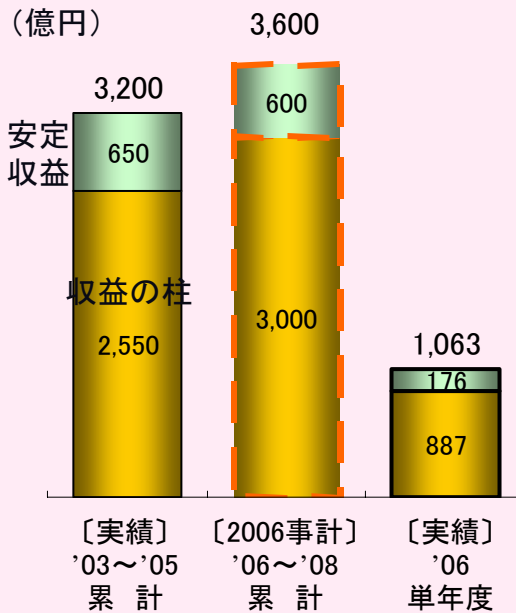
◆ 設備投資

- ✓ 伸長事業へ投資の加速
 - ・ガスタービン、風車、太陽電池、ターボチャージャ等の生産能力増強
 - ・B787複合材主翼工場 他
- ✓ 内製力強化の加速
 - ・生産プロセス革新、設備近代化



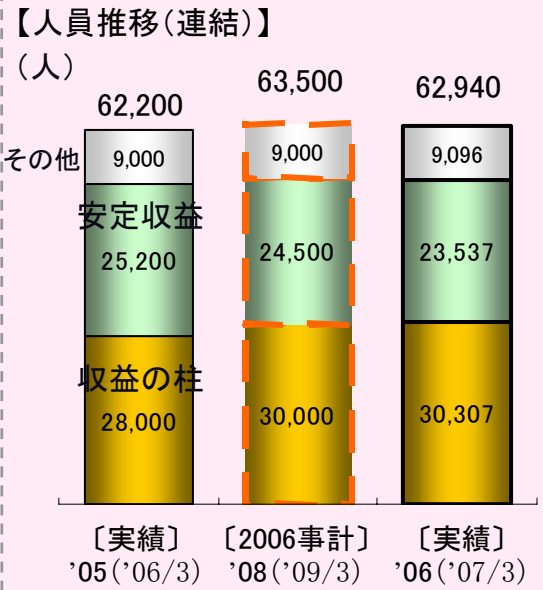
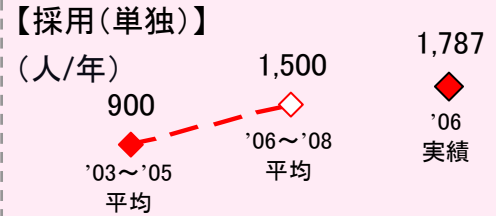
◆ 研究開発投資

- ✓ 伸長事業へ重点投資
 - ・次世代ガスタービン、IGCC、US-APWR、アレバ / 共同開発炉、B787 (複合材主翼/エンジン)、環境適合型エンジン等の開発推進
- ✓ ものづくり革新の推進
 - ・QI-I、DE-I、MD-PJ
 - ・デジタルものづくり推進、生産技術課題の解決



◆ 人材確保

- ✓ 積極的に採用拡大
- ✓ 伸長事業への人材シフト



その他: 本社管理部門、技術本部(含む研究所)、関連会社

この星に、たしかな未来を。

Dramatic Technologies

